令和８年度

事　業　計　画　書

グループホーム　草原の風

共同生活援助事業所

目　次

1.　はじめに　.....1

2.　施設理念　.....1

3.　運営目標　.....1

4.　支援項目　.....1/2

5.　行事・研修・会議予定　.....2

令和８年度　草原の風　事業計画

１　はじめに

グループホーム草原の風では、地域の方への施設等に関する理解促進および利用者と地域との関係づくりに努めます。

また、利用者一人ひとりの意向を踏まえ自己決定を尊重し、日常生活や社会生活において有意義な時間が過ごせるような支援体制を図ります。

２　施設理念

生命の尊厳	利用者一人ひとりを、かけがえのない存在として大切にします。
利用者主体	利用者の個性を重んじ、主体性・可能性を尊びます。
人権尊重	利用者に対するいかなる差別・虐待・人権侵害も許さず、人としての権利を尊重します。
社会参加	利用者が一市民として、社会生活できるように支援します。
働く喜び	利用者が生産を通じて勤労の喜びを実感できるよう支援します。
経営の効率化	利用者の安定した生活が継続できるよう、効率的な経営を目指します。

３　運営目標

- 定員充足と経営の安定化
- 利用者中心のサービスの提供
- 地域及び関係機関との連携体制

４　支援項目

(1) 支援の強化

・ 健康管理

① 毎日の手洗い・歯磨き等、健康管理に留意し、検温を実施。

② 定期受診等による身体状況等の把握。

③ 身体状況変化時の医療機関・家族との連携。

④ 市町村が実施している住民健診の受診や事業所が行う健康診断への参加の声掛け、支援を行う。

⑤ 清潔かつ季節に応じた服装の着用の声掛け支援を行う。

・ 各事業所、関係機関との連携

① 相談支援事業所や市町村との連携を図り、利用者の状況に合わせた支援を継続できるよう努める。

② 日中事業のインターワークとの連絡を密にし、情報共有に努める。

・ 相談、傾聴

利用者の抱える悩みに耳を傾け、安心して自立した日常生活が送れるよう相談しやすい環境づくりに努める。

(2) 金銭管理・買い物支援

・ 利用者本人と残高確認を一緒に行い、余暇の過ごし方・日常生活において必要な物を話しながら金銭の使い方の支援を行う。買物支援に関しては、支援日（月１回）を決め、必要な日用品や衣服等の買い物に一緒に行く。

(3) 日常生活上の支援

・ 入浴・身辺処理等の適切な支援を実施し、生活の自立度を向上させる。

(4) 食事の提供

・ 四季折々の食事を取り入れ、季節感を感じられる食事作りに努める。

(5) 緊急時における対応方法及び非常災害対策

・ 年間計画による避難訓練を行うことで、緊急時の対応に備える。また、急変時・感染症発生時、医療機関への連絡・受診を速やかに行えるような対応力をつける。また、災害、感染に備えた備品、備蓄の整備と定期的な機材の点検を行った上で、緊急連絡網にて職員に周知し、避難、救出その他必要な実践的な訓練を行う。

5　行事・研修・会議予定

・行事・研修に関しては日中事業と連携を図り、取り組む。

	行事（メニュー）	研修・会議	
４月	お花見（手作り弁当）	職員会議・世話人会議	
５月	スタミナ会（バーベキュー）	職員会議・世話人会議	虐待防止
６月		職員会議・世話人会議	
７月	土用の丑の日（ウナギ）	職員会議・世話人会議	身体拘束
８月		職員会議・世話人会議	
９月	秋の味覚（秋刀魚）	職員会議・世話人会議	災害訓練
10 月	収穫祭	職員会議・世話人会議	
11 月		職員会議・世話人会議	
12 月	餅つき・クリスマス会・忘年会	職員会議・世話人会議	虐待防止
１月	おせち・どんどや・鏡開き	職員会議・世話人会議 地域連携推進会議	
２月	節分（恵方巻）	職員会議・世話人会議	身体拘束
３月	ひな祭り（ちらし寿司）	職員会議・世話人会議	火災訓練

※毎月　買い物支援

※都度　担当者会議